

【新潟市環境政策課】

令和 2 年度 佐潟再生事業について

【概要】

佐潟周辺自然環境保全計画に基づき、佐潟の水質改善を図るため、人の手を加えながら佐潟の再生を目指す。令和 2 年度は水門前の砂礫質堆積物の除去を行い、その後に水門前の泥の排出試験を再度実施しながら、事業の効果を地域関係者と検討する。

1 佐潟水門前の砂礫質堆積物撤去作業

(1) 実施概要案

令和元年度に実施した水門前の泥の排出試験結果で明らかとなった、水門前に堆積した砂礫質の土砂を重機で撤去する。

①実施時期

- ・作業は令和 2 年 9 月頃を実施する予定
- ・作業は、ハクチョウが本格的に飛来する前に作業を終了させる。

②実施方法

- ・水門脇に重機の搬入路を確保し、足場を設置しながら重機で湖底に堆積した土砂を撤去する
- ・撤去の際には、できるだけ自然環境への負荷を抑えて実施する。

(2) 結果報告

- ・実施結果は、令和 3 年 3 月に開催予定である、第 32 回佐潟周辺自然環境保全連絡協議会で実施結果を報告し共有する。

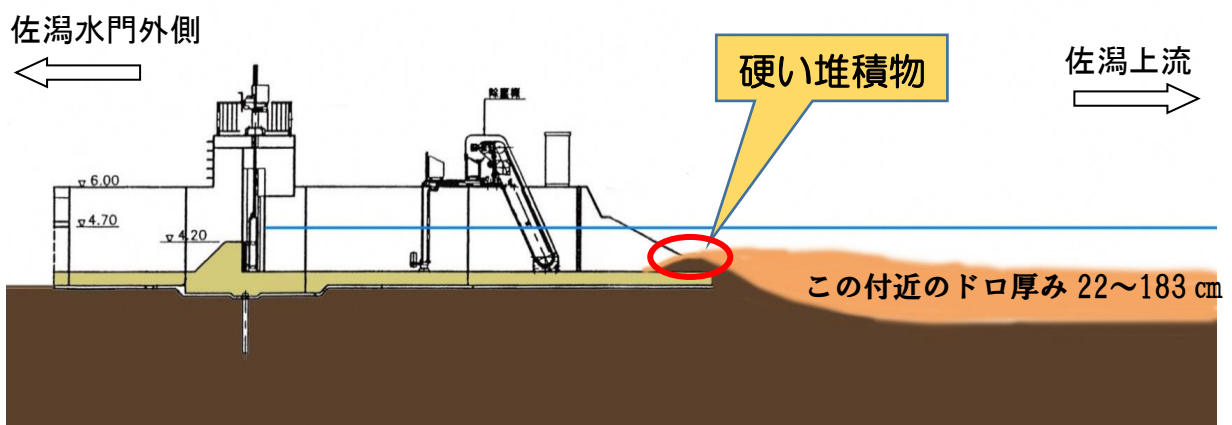


図. 佐潟水門断面図（引用：第 29 回佐潟協議会資料から改変）

2 佐潟水門前のポンプを用いた泥の排出試験

(1) 実施概要案

佐潟水門前にある砂礫質の堆積物を撤去した後に、令和元年度に実施した泥の排出試験を改めて実施し、水門前の泥の排出状況を確認する。

①実施時期

- ・土砂撤去終了後の令和2年10月頃に実施の予定

②実施方法

- ・大型ポンプを用いて湖底の泥を圧送し、開門したドロばきから圧送した泥を排出する。
- ・一定時間排出後の泥の堆積状況を実施前と比較して、排出状況を確認する。



写真上. 令和元年度泥の排出試験の様子

写真右. 堆積物撤去、排出試験作業位置図



3 事業実施結果の検討

○土砂の撤去及び、水門前泥の排出試験を実施後に実施結果を関係者で総括する場を設け、あわせて今年度の水位管理の状況についても協議する。

【参集依頼団体・依頼者（予定）】

- ・コミュニティ佐潟：石黒会長
- ・佐潟と歩む赤塚の会：涌井会長
- ・新潟水辺の会：加藤功氏
- ・新潟国際情報大学：小宮山准教授
- ・(公財) 新潟県都市緑花センター：久原泰我氏

○地域関係者に意見を伺いながら、令和2年2月に地元で開催した意見交換会を再び開催するかどうか検討する。

○協議の内容は土砂撤去の実施結果とあわせて、第32回佐潟周辺自然環境保全連絡協議会で報告する。